

# Google Japanにたたかろう組合

## JMITUアルファベットユニオン委員長・小林佐保さんに聞く

### 世界で大規模レイオフ

### 解雇は株主へのアピールか

世界で1万2千人規模の整理解雇をすすめるGoogle(以下グーグル)。「会社が目指す民主主義的なウェブをつくる」というミッションを実現するためには、経営自体が民主的である必要がある」と掲げて、今年2月に結成したJMITUアルファベットユニオン。委員長の小林佐保さんに話を聞きました。(文責・見出し共に編集部)



小林佐保さん

「あらためて、今回のグーグルの大規模レイオフ(解雇)の問題点を説明下さい。」

共通して根本にあるのは、アメリカでのレイオフ

のやり方をできるだけそのまま日本に持ち込むとしたことです。日本とアメリカの社会や文化の違いを無視して、基本的な構造を変えずに行なったことで、様々な問題が生じています。まず、経費削減、解雇回避の努力をほとんどしないままに解雇が行なわれている。そして、産休、育休の社員がその対象になっていくということ。また、退職交渉を断ったらどうなるのかという質問に、会社は全く答えませんでした。

### 「これは本当にGoogleがやりたかったことなのか」

2週間という期限で当事者の不安が募る中、解雇にサインしなければ社内アクセスを停止するというアメリカで行われたロックアウト解雇を連想させるような言葉が入ったメールが送られてきたことで、多くの人が退職を断れば早期退職のボーナスももらえない、強制解雇がその後待っていると錯誤してサインした。その点が問題になっていきます。

「会社に裏切られた」という声が多数ありましたが、逆に今までは社員を大事に、子育て世代の働き方にも理解を示していたということですか。そうですね。特に男性の育休の取得状況は他の会社と比べ



Google Japan 本社前で3月7日に行った宣伝行動

て良かったと思います。ほとんどの、新しく子供を持った父親たちが、何カ月という単位の産休・育休を取り、保育園にお迎えで3時、4時に退社するというのを、課長や部長に当たる人たちが当たり前にこなしていました。

そういう姿を見て、自分がグーグルでのキャリアが長くなって、子供を持って、昇進もしていけば、そう過ごすのだなというイメージを多くの

「業界的には、いわゆるジョブ型雇用で、仕事ありきで

雇われて、そのプロジェクトが終わったら解雇みたいなことが多いのでしょうか。」

「今後の交渉を見据えて、一番大事だと考えることは、グーグル社員の多くは、1年後の自分がどうなっているかわからないというペーソスでキャリアを見る人たちのなかで、裁判など期間のかかるものを使ってまで自分の権利を守ろうとするのを合理的と見做す

「日本以外のレイオフ対象者との連携や、国ごとの労働法の違いはどうでしょうか。アメリカの本社の、アルファベットワークユニオンと話をしましたが、アメリカは日本と比べて労働法があまり労働者の権利を守っていないので、団体交渉などのような、会社と直接話し合いをするような機会もなかなか取れないということでした。」

「そういう意味では、やはり日本の労働法は、労働者を守っている、と。そうですね。そもそも日本

の場合、社会の仕組みが、雇用が守られることを前提に作られているのではないかと思っています。保育園は両親が共働きでない限り利用できませんが、産休、産休中であれば、働いているというカウントになります。でも、仕事がない状態の人だと、保育園が利用できません。

これはよく考えるとおかしいことですが、仕事がないという人はもう専業主婦としてのキャリアを選択した人なのだからという前提で社会が作られていると、その分、解雇しづらいような、労働法が労働者の権利を守るようなものになっているというの

が、表裏一体なのかなという風に思います。もののなっているという理由です。少し新規の雇用を止めて待てば6パーセントの社員削減なんて簡単にできた。今回の解雇の目的は別にあって、社員の自主性を尊重するグーグルの自由な文化を、経営者層の一部が変えた

か。ひどいことが起きたと思う反面、これが本当にグーグルのやりたかったことなのかと疑問に思っています。日本法人の経営者層も人事も、基本的にみんな善良な人たちで、法律を正面から破ろうとは思っていないと思います。これは、投資家、コンサルタント会社、アメリカ本社経営層の一部が考えていることではないかと。

「相手は巨大グローバル企業です。労働組合の委員長として対峙するのは、とても勇気がいるのではないのでしょうか。」

「私が労働組合の委員長になったからといって、グーグルは私に不利になるようなアクションを取ろうかな会社ではないと思っています。」

本金属製造情報通信労働組合)や全労連が組織として署名活動を広げてくれたことが呼び水となり、オンラインでも署名が広がっていきま

### 相手の真のねらいは

### 社員尊重する自由な文化



楽しいメーデーはどこに  
建築・大工 滝沢清子  
私は組合に入って50年。組合行事に多く参加して

ますが、特に楽しみにしている行事のひとつにメーデーがありました。季節が良

規制ばかり。お茶の持ち込みも認められず、持ち込んで良いのはお水だけ。

今回の中央メーデーは、分会の仲間と食べたり・飲んだりして交流する楽しみはどこにもなく、やっぱり、つまらない労働者の祭典でした。

労働者の祭典であるメーデー。その名前に相応しい楽しい内容に、また戻るとを期待したい。(足立)

### 連帯する組合の力を実感

### 世論での包囲めざす

大変気になると思うので、社会的包囲というか、世論で動かしていくという活動が必要になっていきます。JMITU(日